

国指定史跡

草津宿本陣

National Historic Site: Kusatsu-juku Honjin



江戸時代、草津宿は東海道五十三次のうち、江戸から数えて52番目の、東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として栄えました。宿場町に置かれ、大名や公家などが休泊した施設を「本陣」といい、かつて草津宿に2軒あったうちの一つ「田中七左衛門本陣」が現存しています。建物が現存する本陣の中では、全国でも最大級の規模であり、当時の面影をとどめています。昭和24（1949）年に国の史跡「草津宿本陣」に指定されました。

☎ 077-561-6636 ♥ 草津一 🕒 9:00～17:00（入館は16:30まで）

📅 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（土・日曜日と重なった場合は開館）、年末年始 !!JR草津駅東口から徒歩約10分

In the Edo period (1603-1867), the post station town of Kusatsu-juku flourished as the 52nd of the 53 stations of the Tokaido Highway counting from Edo, and as the station where the Tokaido and Nakasendo highways crossed. Two inns, called honjin, which provided lodgings to feudal lords and court nobles, were built at Kusatsu-juku. One, the Tanaka Shichizaemon Honjin, still stands today. One of the largest extant honjin in Japan, it still looks just as it did in the Edo period and was designated as the "Kusatsu-juku Honjin" National Historic Site in 1949.

所蔵品紹介

Artefacts in the Collection



関札

草津宿本陣の正面玄関で目を引く「関札」は、休泊者の氏名官職を筆太に書き、本陣の表門脇などに掲示されていたもので、休泊者が持参し、休泊時の標識として用いられました。



大福帳

本陣には大名や公家など、限られた人たちが宿泊しました。草津宿本陣に残されている、宿帳（利用者名簿）にあたる「大福帳」には、忠臣蔵で有名な吉良上野介や浅野内匠頭、新選組の土方歳三や斎藤一一行が、利用したことなども記されています。



忘れ物（煙管入れ）

令和元（2019）年に、新選組幹部のものとされる失念物（忘れ物）の煙管入れが発見されました。新選組の利用については、休憩か宿泊か謎を残していましたが、この発見により、長い時を経て、宿泊であったという事実が確認されました。



豊廊下

玄関広間から屋敷奥の上段棟への通路として設けられた幅一間半・奥行き八間半もの長大な畳敷きの廊下。

江戸時代の草津宿

天保14（1843）年の記録によると、草津宿には本陣に加え、脇本陣2軒、旅籠72軒が軒を連ねていました。他にも茶屋など旅人相手の商家、米や瀬戸物をはじめとした日用品の店、物流の拠点となった問屋場・買目改所などが並び、人と物の行き交う、にぎやかなまちだったことがうかがえます。

国指定史跡

芦浦観音寺跡

National Historic Site: Site of the Ashiura-kannon-ji Temple



観音寺阿弥陀堂



表門

寺伝によると、聖徳太子開基、秦河勝創建とされ、応永15（1408）年に歓雅が天台宗寺院として中興した芦浦観音寺。草津市の北部、東は中山道の宿駅である守山宿、西は志那港へと通じる、水陸両交通の要衝に立地しています。戦国期から江戸初期にかけて、豊臣秀吉や徳川家康の天下統一事業に深く関わり、特に琵琶湖の湖上交通を管掌する船奉行として重要な役割を担っていました。境内の観音寺阿弥陀堂と観音寺書院が重要文化財に指定されているほか、仏像や古文書などの貴重な歴史資料も伝わっています。

| ☎ 077-568-0548（要予約） ♥ 芦浦町 🕒 年2回、一般公開あり !!JR草津駅西口から、近江鉄道バス、烏丸下物線「芦浦」下車

国指定史跡

瀬田丘陵生産遺跡群のうち 野路小野山製鉄遺跡

National Historic Site
Seta Hills Production Sites:
Noji Onoyama Ironworks



野路小野山製鉄遺跡（製鉄炉）※調査時の風景（現在は見られませんが）

国内有数の製鉄・製陶地帯であった瀬田丘陵内の野路・野路東にあり、国指定史跡「瀬田丘陵生産遺跡群」のうち、最も北に位置する大規模な製鉄遺跡です。京滋バイパス建設に先立ち実施された発掘調査で発見され、製鉄炉・木炭窯・工房など、奈良時代の鉄生産に係る一連の遺構が残っています。製鉄炉が整然と並んで作られていることや、極めて良質な鉄鉱石のみを用いていることが特徴で、国家的な建設事業に鉄を供給するために、組織的に整備された大規模製鉄所であったと考えられています。



当時の操業イメージ

さかきざし

神差遺跡から出土！ 古代の発見物

Excavated from the Sakakizashi
Site! Ancient Discoveries



ちゅうそう い こう 鑄造遺構

飛鳥時代末から奈良時代初頭とみられる、金属製品を鑄造するための遺構が見つかっています。

瀬田丘陵内の南草津プリムタウンに位置する神差遺跡では、平成29～30年度にかけて行った発掘調査で、国内最古級の鉄や銅の鑄造関連遺物が見つかりました。ここで作られた製品は、近隣の官衙（役所）や寺院に供給されていた可能性があると推定されています。

じゅうきやく い が た 獣脚鑄型

金属製品を作るために粘土で作られた型を鑄型といいます。獣脚とは、羽釜や鍋の脚で、本体との接合部に獣の顔を、先端部に獣の爪先を装飾したもので、全国的にも獣脚鑄型の出土は珍しく貴重なものです。



完成品イメージ図

※最新情報や詳細は各施設（史跡草津宿本陣・芦浦観音寺）にお問い合わせください